



敬老の日には、何処かへお出かけしていましたが、新型コロナウイルス感染症の流行により外出もままならず、どこかに出かけた気分でおやつバイキングを行いました。ご利用者の皆さんはとても嬉しそうな笑顔で「こんねん食えるだけ〜?」「みんな食べてもいいだけ〜?」と、普段と違ったおやつの多さに驚き満足そうでした。食べるおやつを見ながら「こりゃあ〇〇だ〜」「わたしゃあ、これん好きだよ」と会話も弾んで召し上がって頂きました。

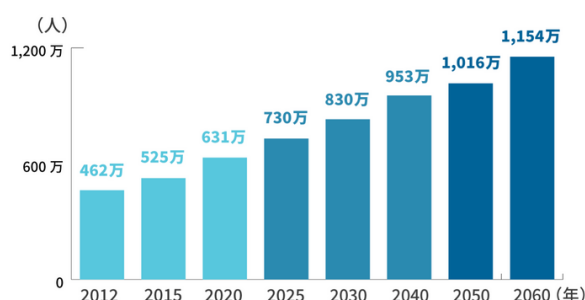
新型コロナウイルス感染症が早く終息して、普段通りの生活に戻れることを皆さん望んでいる事と思います。施設においても感染予防を徹底して行い、安全安心して生活できるように日頃から気を付けていきます。

2050年認知症患者数は？

認知症の患者数は増え続け、2050年には1億3,900万人になると推計しています。

日本でも認知症患者は年々増加しています。その数は2050年には1,016万人になり、65歳以上の高齢者のうち約28%が認知症になると推計されています。増えている要因ははっきりしませんが、喫煙や高血圧、コレステロールが影響していると言われています。

日本における認知症高齢者の将来推計



新型コロナウイルス感染症と認知症

高齢者の後遺症に、認知障がいや高い頻度で起きているという報告があります。さらに、新型コロナに感染するとアルツハイマー病の進行を早める可能性も指摘されています。アメリカの大学の研究によると、新型コロナに感染し回復した60歳以上の患者の約6割に何らかの認知機能障がいが見られ、うち3人に1人は重度の障がいがあったことがわかっています。新型コロナ感染した患者の中で、味覚臭覚障がいや脳卒中などの神経症状のある人は、血液成分にアルツハイマー病に関係が深いタウタンパク質などの量が多い傾向にあることも報告されています。アルツハイマー病の新薬の開発や承認に関するニュースが、国内外で大きな話題となっていますが、一般的な使用が認可されるまでにはまだ時間がかかるでしょう。新型コロナウイルス感染症に気を付けて毎日を過ごしましょう。